

## 【国際研修会の変更について】

6月3日（日）に開催を予定しておりました国際研修会ですが、講師のアンドロニコフ先生が急遽、止むを得ない事情により、来日されることが難しくなりました。つきましては、皆さまともども国際研修会の開催を楽しみにしていたところではありますが、この度の開催は中止させていただきます。その代わりに、下記の通り内容を変更し、参加費を減額したうえで、同日程で国内研修会を開催いたします。

内容が変更になるとは言いまでも、なかなか検討することが難しい司法矯正領域のケースを扱う研修会です。貴重な機会となりますので、是非とも参加をご検討ください。5月18日（金）まで申し込みを受け付けます。本研修会への参加は、CPCS-2（認定資格レベル2）研修会のポイントとなります。

すでに国際研修会への参加をお申し込みいただいている、下記研修会への参加を希望される方は、あらためて参加申し込みの手続きをしていただく必要はありません。参加費については差額を返金いたします。内容の変更に伴って本研修会の参加をキャンセルされる方には、参加費を全額返金いたします。返金方法等については別途、研修会事務局より案内させていただきます。

### 記

日時：2018年6月3日（日）9時30分～16時30分

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京代々木）

研修内容：犯罪を繰り返す受刑者の心理学的アセスメント

講師：中村紀子（国際ロールシャッハ及び投映法学会会長）

渡邊 悟（京都少年鑑別所）

今回の研修会で検討する事例は、少年時代から、非行・犯罪（主に窃盗）を繰り返し、刑務所にも複数回収容されている40代の男性受刑者です。この受刑者は境界性人格障害の診断を受け、精密な心理的アセスメントが必要ということで、入所時調査及びおおむね6か月ごとの定期再調査の際に、継続してロールシャッハ・テストを実施しました（3回）。本研修会では、1回目のロールシャッハ・テストを中心に検討を進めますが、3回の結果を見ると、一貫して変わらない特徴が認められる一方、例えば、自己評価については、極端に下落したり、誇大になったりするなど、振幅の大きさが目立っています。2人のアセスメントの達人と一緒にディスカッションを進めながら、この難しいケースについて時間をかけてひも解いていきます。

参加費：会員 5,000円、非会員 7,500円、大学院生 4,000円

申込先・問い合わせ先：jrscmember\_seminar@yahoo.co.jp